

J DRONE

より安全に、より遠くまで

無人ヘリコプターで 空からのソリューションを提供

衛星通信を搭載した 無人ヘリコプター活用サービスの紹介

衛星通信仕様 FAZER R G2

ヤマハ発動機製無人ヘリコプター「FAZER R G2 衛星通信仕様」は、「FAZER R G2」の特性である長い航続時間と航続距離に加え、「衛星通信」を採用することで通信の安定性を確保。これまで有人ヘリコプターや電動ドローンでは困難だった災害発生時の空からの課題解決を実現します。

J DRONE では

被災地の支援で必要となる
「一刻も早い状況把握」、
「支援物資輸送」を
サポートすることが出来ます。

▼ 詳しい内容はホームページからご確認ください。
<https://jdrone.tokyo/>

株式会社JDRONE

検索



衛星通信利用によるポイント



安定した自動飛行

衛星通信とLTE通信を併用し遠隔操作の通信を冗長化、厳しい条件下でもコントロールを確保します。



リアルタイムな カメラ映像の共有

機体カメラ映像は映像共有アプリケーションを活用し、他拠点でリアルタイム共有が可能です。

FAZER R G2 活用のポイント



フライト時間100分、 航続距離90km

ガソリンエンジンを活かした長時間/長距離航続で、交通インフラが分断された地域の業務でも活躍します。



最大積載重量33kg^{※1}

空からの計測業務や点検・検査、山間部や離島への運搬業務で圧倒的なパフォーマンスを発揮します。
※1 気温20℃、1気圧、燃料6ℓ搭載



卓越した飛行性能

農業散布で活躍する無人ヘリのエンハンスモデルで、風雨下でも安定した飛行を実現します。^{※2 ※3}

※2 地上1.5mで10m/sでの離着陸が可能です。
※3 1時間に1mmの降雨量下で約1時間の飛行実績があります。



長距離・低高度飛行

低高度での飛行が可能な無人ヘリコプターは、有人ヘリコプターでは難しい災害時対応に期待されています。

衛星通信システムを利用したFAZER運航システム

衛星通信を活用する事で、遠隔での操作、リアルタイムでの映像共有が可能



被災地支援活動例

最前情報収集



災害発生直後の現況調査、ファーストアタックへの活用

災害を免れた地域から衛星通信を活用して遠隔操作し、被災地上空を無人ヘリコプターで空撮します。機体カメラによる空撮映像を対策本部など複数拠点へリアルタイム共有します。被災地現況をいち早く、広範囲に把握することができ、迅速な対策立案に貢献します。

運搬・物流支援



交通インフラが分断された地域への運搬、物資輸送

無人ヘリコプターは垂直離着陸が可能のため離着陸スペースが広く取れない山間部などでも活躍します。衛星通信を利用した航行は、離島間など目視外や交通インフラが分断された地域への運搬にも力を発揮します。

放射性物質の拡散状況調査

福島第一原子力発電所事故により拡散した放射性物質の状況調査のため無人ヘリコプターによる上空からの放射線測定を実施しています。重量計測機器を搭載し、広範囲を有人機より低い高度で自動航行し近接測定します。取得した放射線データは解析を施し可視化しています。



JDRONEサービス活用機体 仕様諸元

機体仕様	標準仕様 FAZER R G2	衛星通信仕様 FAZER R G2
全長		3665mm
胴体長		2782mm
全高		1226mm
燃料タンク容量		12ℓ
メインローター直径		3115mm
テールローター直径		550mm
最大離陸重量※1		110kg
最大積載重量	35kg※2	33kg※2

※1 気温20°C、1気圧 ※2 気温20°C、1気圧、燃料6ℓ搭載

J DRONE

<https://jdrone.tokyo/>



株式会社JDRONE

TEL : 03-4236-0080
e-mail : contact@jdrone.tokyo

【 本 社 】 〒163-0417 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビルディング17F
【 神 田 事 務 所 】 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-6-5 東神田ビル1F
【 南相馬サービスベース 】 〒975-0034 福島県南相馬市原町区上浜佐原田193